

平成30年度資源評価報告書(ダイジェスト版)

[Top](#) > [資源評価](#) > [平成30年度資源評価](#) > [ダイジェスト版](#)

標準和名 ハタハタ

学名 *Arctoscopus japonicus*

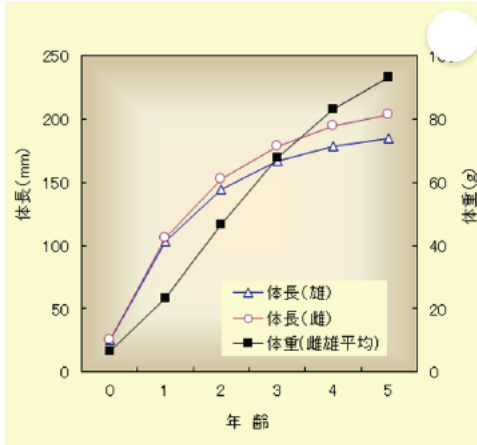
系群名 日本海北部系群

担当水研 日本海区水産研究所



生物学的特性

寿命： 5歳（年齢および年級は、ふ化した年を生まれ年とし1月1日に加齢する表記）
成熟開始年齢： 雄：1歳（割合は不明）、雌：2歳（100%）
産卵期・産卵場： 12月上・中旬、主に秋田県沿岸の藻場
食性： 端脚類、桃脚類、オキアミ類、イカ類、魚類
捕食者： 大型魚類（マダラ等）

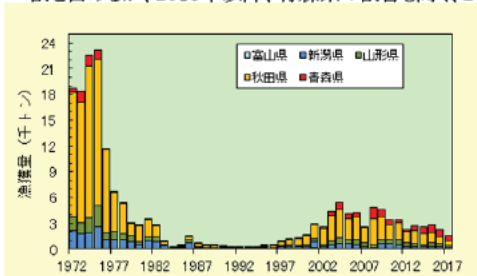


漁業の特徴

青森県～富山県では、夏と産卵期以外の周年、小型底びき網(小底)や沖合底びき網(沖底)により漁獲されている。小底と沖底をあわせた底びき網による漁獲量が全体の約5割を占める。また、ハタハタの産地として有名な秋田県、青森県の両県の浅海域では、産卵期にあたる12月上中旬に、定置網、底建て網、刺網で漁獲されており、それらの漁獲は全体の約5割を占める。

漁獲の動向

漁獲量は、2万トン程度であった1970年代前半から1980年代にかけて急激に減少して1991年は158トンとなった。この急激な悪化を受け、秋田県が3年間禁漁し、2004年には5,405トンにまで回復した。しかし、2010年頃から再び減少し、2017年では1,578トンであった。直近5年間(2013～2017年)の県別漁獲量では、秋田県が全漁獲量の3～6割を占めるが、2013年以降、青森県の割合も高く、2～4割を占めるようになっている。



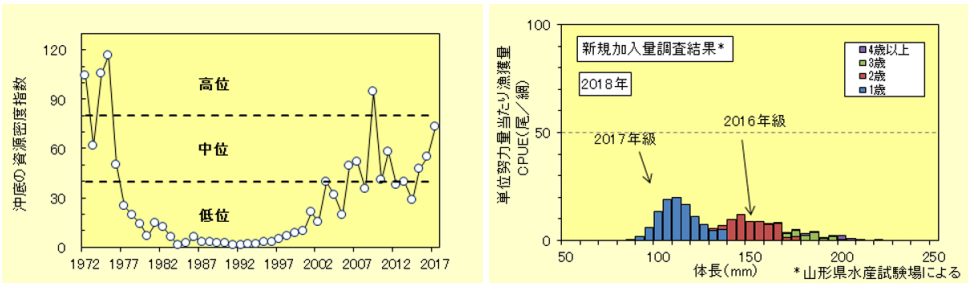
資源評価法

沖底の資源密度指数を資源量指標値とし、それに基づき資源状態を判断した。また、山形県水産試験場が4～5月に実施した新規加入量調査ならびに漁獲物の体長組成に基づき、近年の年齢組成および各年級の豊度を推察した。

資源状態

沖底の資源密度指数は、2001年以降、周期的に増減を繰り返しながら増加している。新規加入量調査の結果から、2019年に漁獲される2017年級の豊度は比較的低いと推察された。資源水準の境は、漁獲が多かった1970年代半ばに記録された資源密度指数の最高値およそ120を3等分し、高位と中位の境を80、中位と低位の境を40とした。2017年の資源密度指数は73.0であり、資源水準は中位と判断された。資源動向については、直近5年間(2013～2017年)の資源密度指数の推移から増加と判断された。





管理方策

資源水準および資源量指標値(沖底の資源密度指数)に合わせて漁獲を行うことを管理方策とし、2019年のABCを算定した。なお、資源水準は中位、動向は増加であるが、2019年に漁獲の主体となる2017年級の豊度は低いと推察されたことから、過度に漁獲することのないよう配慮すべきである。

管理基準	Target/Limit	2019年ABC (百トン)	漁獲割合 (%)	F値 (現状のF値からの増減%)
0.9・Cave3-yr・1.22	Target	19	—	—
	Limit	24	—	—

- Limitは、管理基準の下で許容される最大レベルの漁獲量。Targetは、資源変動の可能性やデータ誤差に起因する評価の不確実性を考慮し、管理基準の下でより安定的な資源の維持が期待される漁獲量
- ABC算定規則2-1)に基づき、ABCは $ABC_{limit} = \delta_1 \cdot Ct \cdot \gamma_1$ 、 $ABC_{target} = ABC_{limit} \cdot \alpha$ で計算した。係数 α には標準値0.8を用いた
- 係数 δ_1 は、水準決定方法を考慮した中位水準の標準値の0.9、Ctは2015～2017年の平均漁獲量(Cave3-yr)である2,207トン
- γ_1 は、 $\gamma_1 = 1 + k(b/l)$ で計算をし、kは係数(標準値の1.0)、b(12.6)とl(58.5)は資源量指標値の傾きと平均値(直近3年間(2015～2017年))
- ABCは十トンの位を四捨五入した

資源評価のまとめ

- 資源水準は中位、動向は増加
- 2019年に漁獲主体となる2017年級の豊度は低いと推察される

管理方策のまとめ

- 資源水準および資源量指標値(沖底の資源密度指数)に合わせて漁獲を行うことを管理方策とし、2019年のABCを算定した
- 2019年に漁獲の主体となる2017年級の豊度は低いと推察されたため、過度に漁獲することのないよう配慮すべき

執筆者: 飯田真也・藤原邦浩・八木佑太・松倉隆一

資源評価は毎年更新されます。